

中瀬有紀

プライドを捨て才覚を得る



© Yuki Nakase

Tennis Lesson in Little Italy

ニューヨークで舞台、イベント、テレビの仕事に携わっていると、照明業務における業界間の差異が明瞭で非常に興味深いです。現場と人の雰囲気、使用する器材の種類、事業の進行速度、照明業務の運行方法、現場入りから撤収までの仕事の速さ、図面の型と必要書類の種類など、どの業界でも照明業務は光を扱う仕事に変わりないはずですが、細部が少しずつ違います。従って、照明デザイナーと技術者に求められる技量が業界によってさまざまです。

たとえば、イベントの照明業務で非常に重きを置くのがリギングです。8日間に約350の服飾デザイナーが新作コレクションを発表するニューヨーク・ファッションウィークでは、リンカーン・センター敷地内に設営した特設テント会場を始め、マンハッタン各所のギャラリーや公園がイベント会場として使用されます。そのほとんどが吊り点もバトンも備えていないため、照明器材を吊るために必要なトラスやパイプを仕込むことが全ての始まりです。照明デザイナーは創造する光を実現するためのリギングの工夫が求められ、また作業に携わる技術者は照明だけでなくリギングの技能も不可欠です。

テレビの照明業務も特にスタジオ設営に携わる場合はリギングの知識が必須ですが、一時的な舞

台・イベントの設営と違い、常設パイプの設営です。したがって照明図面作成においても、舞台・イベント照明のデザイナーと技術者に広く使用されているVectorworksにかわり、テレビの照明図面はAutoCADを使用して建築図面に近い形式で作成されることが珍しくありません。DWG形式のファイルを介してAutoCADとVectorworks間でデータの交換が可能ですが、それぞれの業界で使用されているソフトウェアに精通しているほうが明らかに有利です。

日本でも各業界を得意とする照明会社が存在するように、ニューヨークでも「舞台の人」「イベントの人」「テレビの人」という明白な人間関係の境目が存在します。それら全ての業種に代表作があると主張するデザイナーでも主として活躍する場があり、もしくは現在関わっている業種に至るまでに他業種のキャリアを積んだという事例がほとんどです。均等に全ての業種を股に掛けて活躍したいと目標を掲げるのであれば必勝方法はただ一つ、臨機応変であることです。一緒に働く人が何を求めているかを明白にし、その需要に応える。ただそれだけのことですが、言うほど簡単ではありません。いかに自分を捨てて勝負することができるか、が手がかりです。